

事業番号	09 02 02	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	6次産業化ビジネスと食の地消地産推進事業	部局	農政部	課・室	農産物マーケティング室		
		実施期間	H25 ~	E-mail	marketing@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現						
総合的に展開する重点政策	2-2 地域内経済循環の促進		2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進		6-2 信州のブランド力向上と発信		

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設や飲食店、給食施設等での県産農産物等の利用拡大が図られ、地域の風土や食文化に根ざした豊かな食生活が普及している。 ・6次産業化等の地域資源を活用した高付加価値化の取組が各地で展開され、雇用の創出や所得向上により地域経済の活性化に寄与している。 ・県内食品企業等が、県産農産物を積極的に活用することにより、県産農産物の利用拡大と地域内経済循環が図られている。 	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊、給食施設などの実需者による県産農産物等の利活用拡大に向けて、意識醸成の取組や流通の仕組みづくりを進めている。 ・農業の6次産業化に取り組む事業者の経営改善に向け、専門家派遣等による支援を行っている。 ・生産側と実需側のミスマッチの解消や消費行動の変化への対応に向けて、生産者や食品企業、流通事業者等関係者による食と農のプラットフォームを立ち上げ、地域資源を活用した新たな商品開発を支援している。 	
令和3年度の点検結果 ・ 現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsやエンカル消費等の新たな価値観への関心が高まる中で、関係部局が連携して、消費・生産の双方からのアプローチにより地消地産の取組を拡大することが必要 ・新型コロナによる影響を踏まえ、6次産業化に取り組む事業者の経営改善に向けた専門的なサポートや、新たなビジネスの創出に向けた食品事業者間の連携強化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工、観光団体等と連携し、地域が主体となった新たな地消地産の取組の拡大を図る ・6次産業化に取り組む事業者に対して、経営や販売の専門家と連携したサポートを行うとともに、新たに創設したプラットフォームを活用し、事業者間の連携による新たなビジネスの創出を支援する

2 令和4年度事業内容

予算のポイント ・ 主な取組 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食の“地消地産”の推進と県産農産物の域内消費の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ 信州の伝統野菜フェアの開催と情報発信による農政部版エンカル消費の推進 ・ 生産者と地域DMO、観光協会等が連携した新たな地消地産の取組の拡大 ・ 有機給食を通じた環境配慮や持続可能な農業への理解促進と消費拡大 ・ 農産物直売所の運営方法の助言等による機能強化 ○ 6次産業化等の地域資源を活用した高付加価値化の取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6次産業化に取り組む事業者への専門家派遣等による経営改善の支援 ・ 食と農に関わるプラットフォームによる地域資源を活用した新たなビジネスの創出
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	【ゼロカーボン】県立学校等や市町村と連携した有機給食・食育の取組により環境配慮や持続可能な農業への理解促進と消費の拡大

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	売上高1億円以上の農産物直売所の売上総額	億円	163	↑	170	↑	190	200
2	学校給食における県産食材の利用割合	%	45.8	—	49.6	—	47.5	48.0
3	6次総合化事業計画認定件数 6次産業化事業者平均売上額	件 千円	99 8,596	↑	99 9,015	↑	100 9,375	101 9,750
4								
5								

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	予算額	前年度繰越	0	0
当初予算		110,450	118,972	要求 128,752 予算案 128,752
補正予算		188,286	299,843	
合計(A)		298,736	418,815	要求 128,752 予算案 128,752
うち一般財源		2,127	2,387	要求 4,875 予算案 4,875
決算額(B)	255,351			
職員数(人)		3.1	3.0	3.0

設定理由	成果指標	1.県産農産物の域内消費の拡大を図るための指標として、農産物の供給拠点である農産物直売所の売上額を設定 2.学校給食における県産食材の積極的な活用と食育を推進するための指標として、県産食材の利用割合を設定 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休校等の影響により6月の調査は未実施のため11月調査のみ算出 3.6次産業化に取り組む事業者の育成、経営改善の効果を図るための指標として、6次産業化事業者の認定件数と売上額を設定
	目標値	1.第3期長野県食と農業農村振興計画において、H28年度から5年以内に売上総額を200億円にすることを目標としており、令和4年度はその最終年度 2.第3期長野県食と農業農村振興計画において、H28年度から5年以内に利用割合を48%にすることを目標としており、令和4年度はその最終年度 3.6次産業化に取り組む事業者数は一定程度の拡大が図られている状況であり、今後は、事業者の売上目標の達成に向けて売上額の拡大を図ることとしており、令和4年度は9,750千円を目標とする

予算要求からの主な変更点	要求どおり
--------------	-------

事業番号	09 02 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求 <input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検		
事業名	6次産業化ビジネスと食の地消地産推進事業		部局	農政部	課・室	農産物マーケティング室

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算		
1	信州・食の“地消地産”推進事業	3,308 千円	3,678 千円	要求 予算案	7,231 7,231 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	県産農産物の域内消費流通の促進	直接 委託 補助金	<ul style="list-style-type: none"> 信州の伝統野菜フェアの開催と農政部版エシカル消費の情報発信(8地域) 地域DMOや観光協会と連携した地消地産の新たな取組への支援(10か所) 県立学校等における有機給食と食育の実施(18校) 			
2	農産物直売所の機能強化	直接	<ul style="list-style-type: none"> 農産物直売所案内人による直売所の運営手法の助言(7直売所) 直売所の機能強化セミナーの開催(5回) 			

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算		
2	信州農業6次産業化推進事業	106,869 千円	115,021 千円	要求 予算案	121,521 121,521 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	信州6次産業化推進協議会による一貫した支援	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 6次産業化事業の経営改善に向けた戦略の策定、実行の支援 6次産業化や地域資源の活用促進に向けた人材育成研修会 			
2	信州6次産業化推進事業補助金	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 6次産業総合事業化計画に基づく施設等の整備への支援(2事業者) 地域資源を活用した研究開発や新たなサービス等への支援(4事業者) 			
3	ローカルフードビジネス創出への支援	委託 補助金	<ul style="list-style-type: none"> 食品企業や生産者、流通業者等からなるプラットフォームの設置 プラットフォームを活用した新たな商品開発等への支援 			